

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 55 (当初計画 : No. 58)

東北森林管理局

取組名	治山事業の理解と啓発(継続)
流域名	宮城北部流域
重点事項番号	④-43
実施箇所及び実施日	深山岳国有林 平成24年 9月12日 宮城県栗原市栗駒 平成24年10月28日
取組の背景及び必要性	平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震の震災箇所復旧の様子を一般市民に見てもらい、国有林が地域住民の安全安心な生活の確保に取り組んでいることなどをPRする。
取組の内容	当署で開催している森林ふれあい教室の中で、甚大な被害を受けた栗原市栗駒耕英地区の災害箇所で復旧状況の説明をした。 栗原市産業まつりにおいて、岩手・宮城内陸地震におけるこれまでの国有林内の山地災害復旧状況をPRするためパネル展示等を行った。 内陸地震の被災から復旧状況をパネル展示するとともにパンフレットを配布し、当流域の民国連携、上下流の連携強化の取組等を紹介するためパネルを展示し、また一般・子供向けに樹木当てクイズを行い治山事業の重要性及び国有林野事業の取組を広くアピールした。
国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	栗原市 (企画、地域住民への情報発進、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	地域住民に治山事業の重要性及び国有林野事業の使命をアピールし、参加者からの感想も良好だった。今後も継続してPRしていくため、イベントへの参加、他の公共施設等への展示を検討し現地見学会等を開催する。
PRの実施状況及びその期待する効果	地元自治体で実施し地域の産業の振興を図り、岩手・宮城内陸地震の震災からの復興を市内外に情報発信した。

【参考資料】

取 組 名	治山事業の理解と啓発(継続)
-------	----------------

○森林ふれあい教室 (復旧状況の説明)



○産業まつり (復旧状況のPR)



○産業まつり (樹木当てクイズ)



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 56 (当初計画 : No. 59)

東北森林管理局

取組名	間伐材の有効利用と促進(拡充)
流域名	宮城北部流域
重点事項番号	①-13
実施箇所及び実施日	石巻地区森林組合 平成 24 年 4 月 27 日(合板用県産材の供給等の検討会)、平成 24 年 10 月 4 日(合板用原木品質向上研修会) 7 月 20 日・10 月 19 日(合板用県産材の供給等の調整会議)
取組の背景及び必要性	我が国の林業は、国有林・民有林を問わず森林資源が充実し間伐の時期を迎えている。今後、間伐材の有効利用と需要の拡大を図るため合板用県産材の供給等の検討会、合板用原木品質向上研修会を開催する。
取組の内容	今年度の合板用県産材の供給等に関する調整会議が 7 月 20 日・10 月 19 日の二回開催された。 また、4 月 27 日に合板用県産材の供給等の検討会、10 月 4 日には、合板用原木品質向上研修会が開催された。 合板工場が集積する石巻港周辺は津波による甚大な被害を受けた。順調に復旧している企業や当初の予定より遅れている企業など、様々な状況にある。このことから、合板用県産材の供給等に関する調整会議により需要・供給見通し等について情報交換した。
国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 (協力)
連携協働相手先・役割	宮城県、活性化センター、合板会社、森林組合、宮城県森林整備事業協同組合 (企画、実行、協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	原木供給者・需要者双方のビジネスパートナーとしての信頼関係の構築及び情報共有を図った。
PR の実施状況及びその期待する効果	PR : 主催者側でなかったことから実施しなかった。

【参考資料】

取組名	間伐材の有効利用と促進(拡充)
-----	-----------------

○供給等の検討会



○合板用原木品質向上研修会



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 57 (当初計画 : No. 60)

東北森林管理局

取組名	松くい虫・ナラ枯れの被害拡大の防止(継続)	
流域名	宮城北部流域	
重点事項番号	④-42	
実施箇所及び実施日	宮城県大崎市鳴子温泉 平成 24 年 10 月 9 日	
取組の背景及び必要性	被害が拡大している、松くい虫及びナラ枯れの早期発見と防除対策を講じ被害拡大の防止に努める。	
取組の内容	<p>松くい虫被害は、昭和 51 年に県内石巻市で初めて現認され、現在も被害が拡大し自然景観を損なう状況下にある。</p> <p>一方、ナラ枯れについては、平成 21 年 9 月に山形県境の大崎市鳴子温泉地区で確認され、関係機関との情報の共有化により早期の防除対策を行ってきたところである。</p> <p>今年度は被害合同調査を県・地元自治体と行うとともに、平成 23・24 年度の国有林内のナラ枯れ被害状況を宮城県へ情報提供した。</p>	
	国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 (実行、協力)
	連携協働相手先・役割	宮城県、市 (企画、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	情報の共有化等により早期の防除対策が実施され、被害の拡大防止が図られた。	
PR の実施状況及びその期待する効果	PR : 主催者側でなかったことから実施しなかった。	

【参考資料】

取組名	松くい虫・ナラ枯れの被害拡大の防止(継続)
-----	-----------------------

○ナラ枯れ防除作業



宮城県大崎市

○松くい虫防除作業(薬剤処理)



宮城県気仙沼市

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 58 (当初計画 : No. 61)

東北森林管理局

取組名	上下流の連携強化のための林業体験活動・フィールドの提供 (継続)
流域名	宮城北部流域
重点事項番号	⑥ - 62
実施箇所及び 実施日	宮城北部森林管理署 遂倉森国有林 (平成 24 年 5 月 17 日)・ 軍沢岳国有林 (平成 24 年 6 月 13 日)・谷川山国有林 (平成 24 年 9 月 4 日)・深山岳国有林 (平成 24 年 9 月 12 日)・深山岳国 有林 (平成 24 年 10 月 6 日)・大船形山国有林 (平成 24 年 10 月 11 日)
取組の背景及 び必要性	次代を担う子供達の森林環境教育、国民参加の森林づくりを 通して森林の持つ公益的機能及び国有林野事業の P R が重要で ある。
取組の内容	石巻市立大原小学校 3・4 年生の児童を対象に植樹体験、手 鋸による間伐体験、クラフト作り (壁飾り作成) などに取り組 んだ。 ボランティアによる植樹としては、仙台市の N P O 「森林と の共生を考える会」と共催で国有林の土砂崩壊復旧工事跡地に ブナ等の山取木 200 本を植樹した。参加者は 90 名だった。 また、一般の方を対象にした「森林ふれあい教室」を 4 回開 催した。登山や林内散策を通じて自然にふれあえる取組みを行 った。
国有林担当 部局・役割	宮城北部森林管理署 (企画、実行、募集、協力、講師、フィールドの提供)
連携協働相 手先・役割	N P O 法人、小学校 (企画、募集、実行)
取組の結果、 反響、今後の 課題等	森林教室に当たっては、これまで安全上及び時間的制約から、 ここ数年同一箇所継続開催している。 対象校からの反響としては、教師より本取組に対し理解を得、 学校長より「父兄等に広く伝えて行きたい」との感謝と労いの 言葉をいただいている。また、植樹については、今後の枯死が 憂慮されることから適切な更新及び保育技術の確立に努める。
P R の実施状 況及びその期 待する効果	P R については、署ホームページ・市町村広報誌・新聞社へ の情報提供を行い、ボランティアによる植樹については、テレ ビ放映された。

【参考資料】

取組名	上下流の連携強化のための林業体験活動・フィールドの提供(継続)
-----	---------------------------------

○石巻市立大原小学校の森林教室



○植樹活動状況



○森林ふれあい教室 (キノコの説明)



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 59 (当初計画 : No. 62)

東北森林管理局

取組名	森林と湖に親しむ森林教室(継続)
流域名	宮城北部流域
重点事項番号	⑥-63
実施箇所及び実施日	宮城県加美町 漆沢ダム周辺 平成24年 7月22日 宮城県大崎市 鳴子ダム周辺 平成24年 7月28日
取組の背景及び必要性	国土交通省鳴子ダム管理所、宮城県大崎地方ダム総合事務所がそれぞれ主催する森林と湖に親しむ旬間などの各イベントに参加要請があり対応してきたところである。今後においても、これら各機関からの強い参加要請があり対応する必要がある。
取組の内容	<p>森林の役割、国有林野事業の地域振興への寄与についてPRした。</p> <p>7月22日(日)、宮城県大崎地方ダム総合事務所と共催で漆沢ダム管理所と共催で漆沢ダム周辺において地元町内外から350人の家族連れが参加。当署からは、巣箱の製作、丸太切り体験を行い子供たちの木育教育に取り組んだ。</p> <p>7月28日(土)、国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所と共催で荒雄湖畔公園において地元町内外から約160人の家族連れが参加。当署では森林の仕組みについて模型で説明、巣箱の製作体験に取り組んだ。</p>
国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	国土交通省、宮城県、大崎市、加美町 (企画、地域住民への情報発進、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	地域住民に国有林野事業の使命をアピールし、参加者からの感想も良好だった。今後も継続してPRしていくため、イベントへの参加、他の公共施設等への展示を検討する。
PRの実施状況及びその期待する効果	各連携機関等のホームページ 広く県民に国有林野事業の使命、森林林業の役割について理解してもらう。

【参考資料】

タイトル 森林と湖に親しむ森林教室(継続)

○漆沢ダム 巣箱作り



○漆沢ダム 丸太切り



○鳴子ダム 森林の仕組み



○鳴子ダム 巣箱作り



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 60 (当初計画 : No. 63)

東北森林管理局

取組名	森林共同施業団地設定箇所の施業の推進(新規)
流域名	宮城北部流域
重点事項番号	②-22, 23
実施箇所及び実施日	宮城県加美町宮崎支所 平成 24 年 7 月 18 日、平成 24 年 10 月 22 日、平成 24 年 11 月 5 日、平成 24 年 11 月 19 日
取組の背景及び必要性	地域の森林整備を進めていくためには、地域森林所有者と隣接する国有林が一体となり、路網整備の整備、高性能林業機械を活用した間伐等の施業など、低コストを目指した森林施業を実施していくことが重要である。
取組の内容	平成 24 年 3 月 15 日に、加美町、森林農地整備センター東北北海道整備局、大崎森林組合と森林整備推進協定を締結した。当流域において、初めてとなる森林共同施業団地のため、国有林が率先して森林農地整備センター・町・森林組合との調整を図り、森林施業の推進に取り組んだ。
国有林担当部局・役割	計画課・宮城北部森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	森林農地整備センター、町、森林組合、山林所有者 (企画、募集、協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	団地化することで補助金の対象になり、民有林での間伐等の施業が一層進むと期待される。
PR の実施状況及びその期待する効果	地域の森林施業の推進に資するとともに、森林林業の活性化が図られ他地域の波及効果が期待される。

【参考資料】

取組名	森林共同施業団地設定箇所の施業の推進(新規)
-----	------------------------

○森林施業の推進のための打合せ(加美町宮崎支所)



(様式 2)